

データの説明

データ番号 (コモンズセンターで記入します)	DPPSCdbp_2016-9
タイトル	心肺停止傷病者を救命するためのデータ ① 体外自動除細動器(Automated External Defibrillator (AED))の位置
作成者	筑波大学システム情報系社会工学域 教授 川島 宏一 筑波大学システム情報系社会工学域 教授 有田 智一 筑波大学理工学群社会工学類都市計画専攻4年 深澤龍磨
問い合わせ先	川島 宏一、深澤龍磨 筑波大学システム情報系社会工学域 公共イノベーション研究室 029-853-3605 hkawashima@sk.tsukuba.ac.jp
概要(データの内容や作成方法)	東京都内の消防署・警察署・交番他におけるAED設置場所(建物名称、住所、緯度・軽度)
更新履歴(版・ファイル名・年月日)	Ver.1.0 2017年4月17日
データの形式	xlsx
データのサイズ	① 122KB
利用上の注意(メタデータの利用など)	
関連報告書・論文等	計画行政学会研究論文を準備中
備考	現在、AED 位置情報の普及活動を担当している厚生労働省及び東京消防庁救急部と、AED 位置情報のデータベース化に向けた協議を続けており、追加的に、AED 関連情報を入手でき次第、東京都 AED 情報データベースのコンテンツを更新することとしている。